

# 鶴見区 社協 だより

## 95号

# ガイドボランティアの活動を紹介します!

ガイドボランティアとは  
視覚障害や肢体不自由、知的障害、精神障害のある方の  
付添い(ガイド)を行う横浜市独自の制度です。

今回は鶴見区でガイドボランティアとして活動されているお2人を紹介します。

【第95号】2024年3月7日発行

編集: 社会福祉法人横浜市鶴見区社会福祉協議会「鶴見区社協だより」編集委員会

★「鶴見区社協だより」の発行には、赤い羽根共同募金の配分金を活用しています。



「鶴見区ボランティアセンター  
マスコットキャラクター カメ吉」

## 活動6年目の藤原さん

ガイドボランティアの藤原さんは、中学2年生のはるかさんと週2回、7時50分に待ち合わせをして学校に向かいます。20分ほどの道のりを学校の話や趣味のゲームの話しながら、楽しく通学しています。

藤原さんは子育てのお手伝いをしたいという気持ちがきっかけとなって、はるかさんと出会い、6年前にボランティア登録をしました。

「ボランティアをしている」という意識は持たない藤原さん。はるかさんと友だちのように、お互い尊重・信頼し合う関係を築くことで、無理なく活動を続けられているそうです。また、はるかさんと関わることで自身の成長にもつながっているそうです。

ガイドボランティアについて、はるかさんのお母さんは「義務ではないけれど藤原さんがいつもその日にあったことや話したことを共有してくれるのがありがたいです。また、娘が文章を書くことが苦手だと相談したところ、藤原さんが交換日記を提案してくれて4年以上続けており、文章が上達しました」とおっしゃっています。

藤原さんは「自分でやりたいと思うことには、経験の有無を問わず飛び込んでみることでその経験を通して学ぶことができます」とおっしゃっています。



## 活動5ヶ月目の川口さん

ガイドボランティアの川口さんは、中学3年生の将吾さんと週2回、8時45分に待ち合わせをして学校に向かいます。将吾くんから話をするのはあまりありませんが、15分ほどの道のりを川口さんとコミュニケーションをとりながら歩き、お母さんから、けん玉が好きとの話を聞いていたので、将吾くん聞いてみると、にっこりと笑顔で返してくれそうです。

川口さんは定年退職後、ある体験を通じて自分もガイドボランティアとして活動する決意をしました。その体験は、地下鉄の車内で障害のある子どもが、大きな声を出している、乗客の視線が集まっている中、付き添いの男性が周りのことを全く気にせず、その子の背中を優しくさり続けしていた姿を見て「カッコイイ」と思ったことでした。

将吾くんとの登校も5か月を過ぎ、お互いにとって日常となってきました。川口さんは、約束の20分ほど前から準備体操をして、将吾くんとの出発を待っています。

ガイドボランティアについて、将吾くんのお母さんは「家族以外の人との登校に少し不安はありましたが、川口さんの優しい人柄のおかげで、初対面から一緒に登校することができました。これからも良い関係を続けてもらえたら嬉しいです」とおっしゃっています。

川口さんのやりがいは「待っている人がいる」ということ。将吾くんが社会と関わりをもつきっかけにもなると考え、活動されています。



## 障害のある方の外出をサポートする ボランティアをしてみてください!

特別な資格は不要で、1回の活動につき奨励金が出ます。  
ご関心がありましたら右記連絡先までご連絡ください。



紹介動画は  
「shakyo」

## 鶴見区移動情報センター

電話 045-504-5050 (専用)  
FAX 045-504-5616  
✉ idou@yturumi-shakyo.jp

## 鶴見区社会福祉協議会の取組を紹介します

令和6年1月16日(火)

### 災害ボランティアセンター運営 訓練を実施しました



マッチングを行う様子

鶴見区社会福祉協議会は区の防災計画に基づいて、災害発生時には鶴見区福祉保健活動拠点に災害ボランティアセンターを開設する想定となっています。

当日は区内で震度6強の地震発生後を想定した訓練が行われ、63名の参加がありました。災害ボランティアセンターに駆け付けたボランティア役を体験し、対応の流れを知ることができました。

令和6年2月17日(土)

### 第18回 鶴見・あいねっと推進フォーラムを 開催しました



鶴見公会堂にて、1部では地域福祉の発展に功績のあった方々に感謝状を贈呈する「社会福祉功労者感謝会」、2部では地域住民による取り組みを発表する「地域活動の発表」としてフードドライブ(駒岡地区)/あさひキッズ愛護会(寺尾地区)の事例を発表しました。

約250名の方が来場し、終盤の「お楽しみ抽選会」も盛り上がりました。当日はロビーでボランティア団体の発表ブース「ボランティアコーナー」、障害児者の製品販売事業「鶴っこ部会」による販売会が行われ、大変に盛り上がりました。来年の開催もお楽しみに!

## 社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会

〒230-0051

横浜市鶴見区鶴見中央4-37-37 リオベルデ鶴声2階

電話 045-504-5619

FAX 045-504-5616

★HPがリニューアルしましたので、是非閲覧ください **注目!**

